

放送を巡る諸課題に関する検討会
「衛星放送の未来像に関するワーキンググループ」 説明資料

資料10-3

衛星放送の現状と課題

2020年9月30日
(一社)衛星放送協会

衛星放送協会とは・・・



衛星放送協会は、日本で初めてとなるCS放送事業者6社の認定に合わせ、1992年に発足したCS放送協議会を前身としています。

その後、CS放送のデジタル化による放送事業者とチャンネル数の飛躍的な増加に伴い、今日の一般社団法人 衛星放送協会に発展致しました。

現在、BS・CS放送事業者78社約97チャンネルで構成され、衛星放送の認知拡大、市場拡大、会員社のさらなる発展を図り、衛星放送の番組の質の向上及び放送倫理の高揚に努めるとともに、技術・経営などの諸問題について調査・研究を行っております。

主な説明内容

1. BS右旋・BS/CS左旋事業者の状況
 - 1-1. DTH(直接受信)のマーケット状況
 - 1-2. 有料放送事業者の状況
 - 1-3. BS・CS左旋事業者の運営モデル例

2. BS右旋帯域の有効利用について
 - 2-1. 4K化の必要性
 - 2-2. BS右旋帯域の有効利用と4K

3. 衛星放送の固定費について
 - 3-1. 固定費負担の現状
 - 3-2. 基本プラン事業者の放送モデル例
 - 3-3. 基本プラン事業者の運営収支モデル例
 - 3-4. 衛星会社の協調関係の構築の重要性

1. BS右旋・BS/CS左旋事業者の状況

1-1. DTH(直接受信)のマーケット状況

DTH 110度

※ 数字はICカード件数

2011年3月	1,404,334 件
2012年3月	1,737,293 件
2013年3月	1,962,710 件
2014年3月	2,055,572件
2015年3月	2,120,085件
2016年3月	2,194,861件
2017年3月	2,093,239件
2018年3月	2,084,222件
2019年3月	2,136,682件
2020年3月	2,158,411件

※ 複数台
割引適用



加入者増加は止まり、純減傾向

DTH 124・128度

※ 数字はICカード件数

2011年3月	2,211,155件
2012年3月	1,963,064件
2013年3月	1,762,364件
2014年3月	1,570,887件
2015年3月	1,254,170件
2016年3月	1,202,549件
2017年3月	1,143,731件
2018年3月	1,093,608件
2019年3月	1,026,623件
2020年3月	931,401件

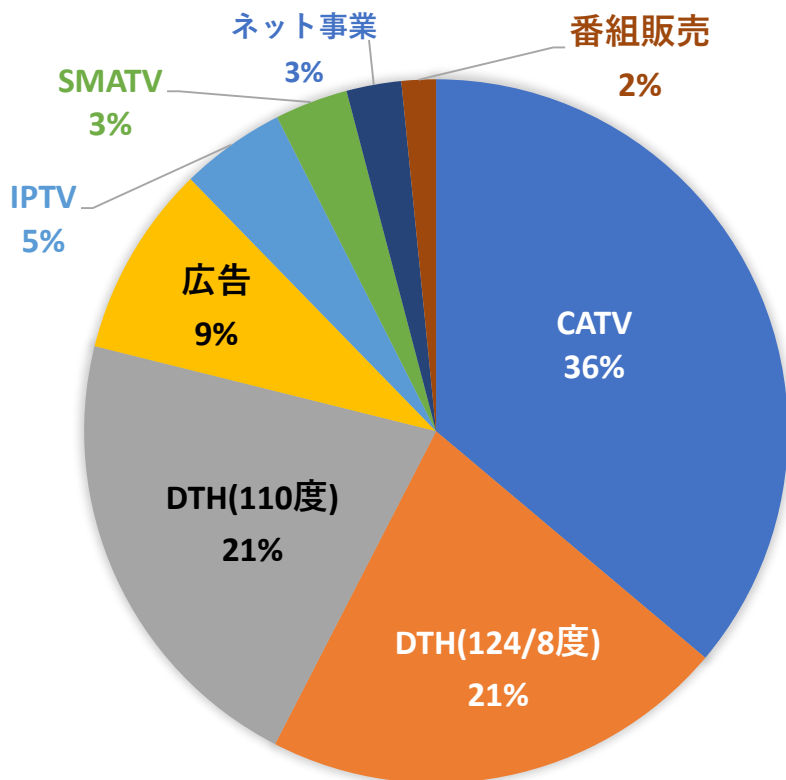


純減傾向が続き、新規契約者が激減

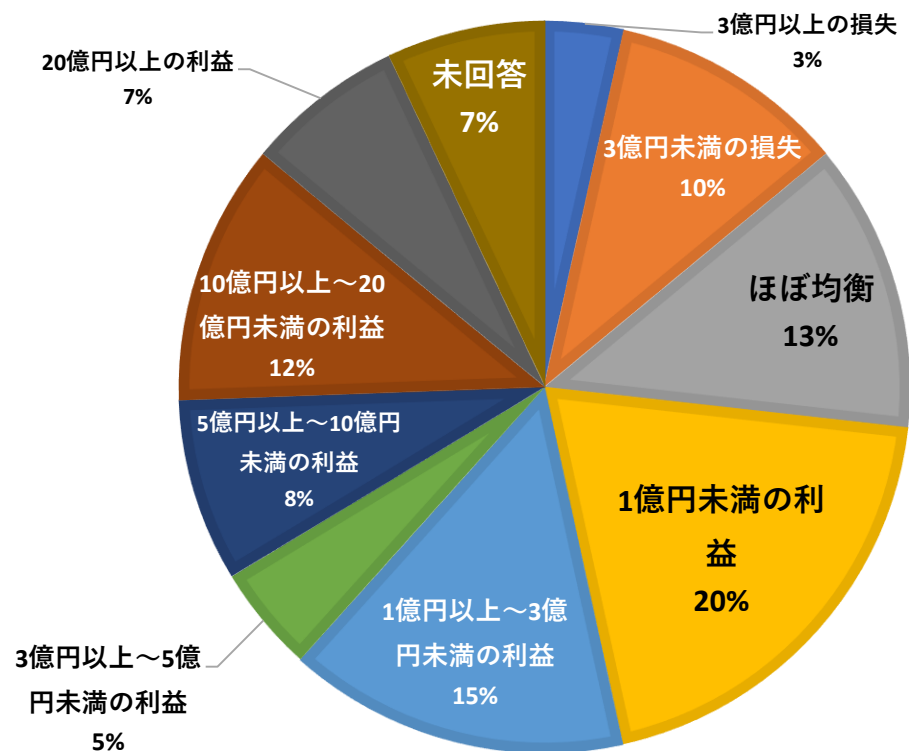
出典:スカパーJSAT

1-2. 有料放送事業者の状況

収入比率
(51社対象)




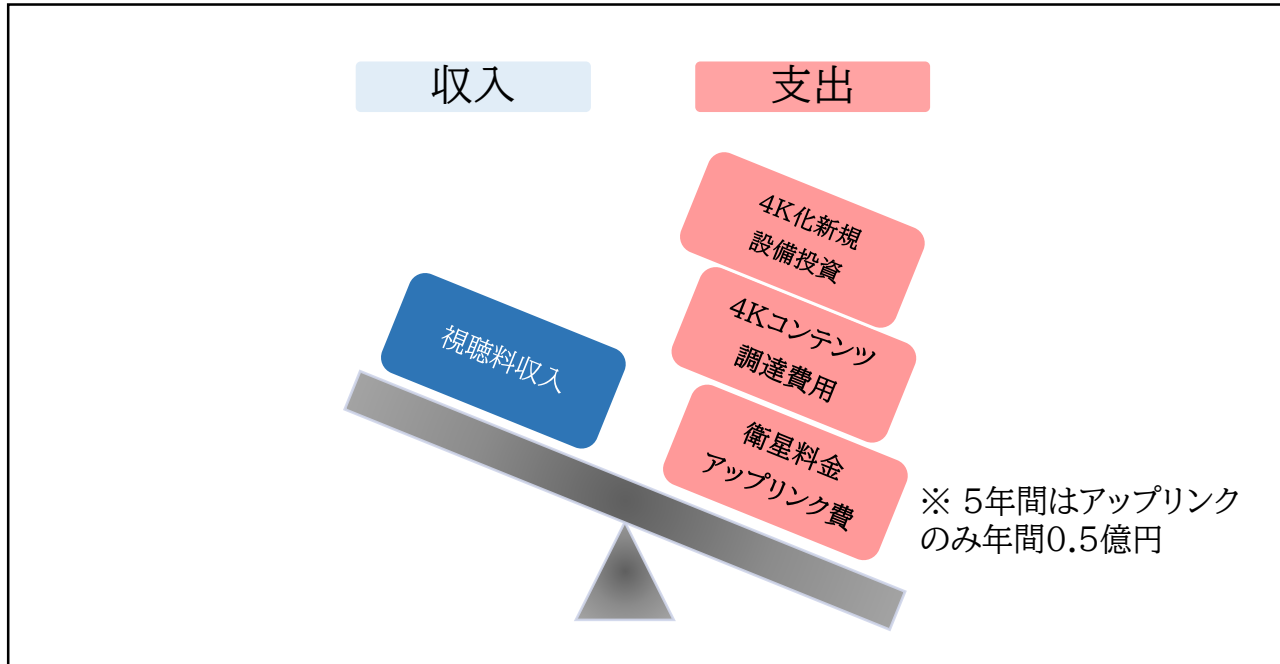
営業損益
(51社対象)



出典:多チャンネル研究所「2019年多チャンネル放送実態調査」

1-3. BS・CS左旋事業者の運営モデル例

 2018年12月の開局以来、厳しい状況が続いている



現状のBS・CS左旋4K事業者の事業運営は難しい。
5年間は、衛星料金が実質無料とは言え、衛星料金の無料が継続しても現状の打破が必要。

BS・CSとも左旋帯域は、空き帯域が多く存在しているが

現時点で追加利用希望者はいない状況

2. BS右旋帯域の有効利用について

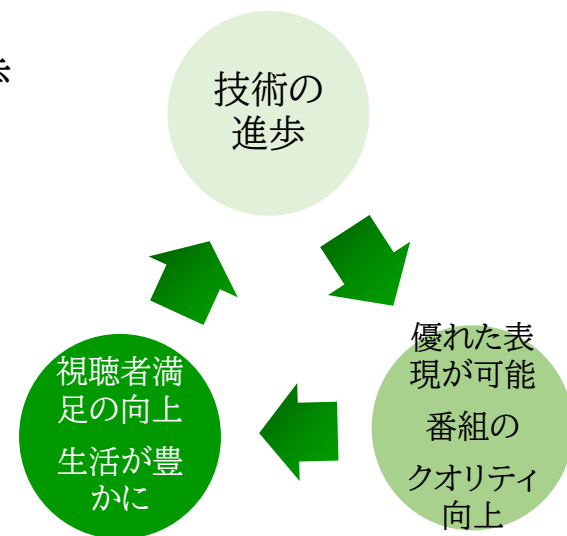
2-1. 4K化の必要性

- テレビの歴史は白黒からカラー、HDへと新しい技術と共に進歩してきた。今後も進歩していくのはいわば必然でもある。

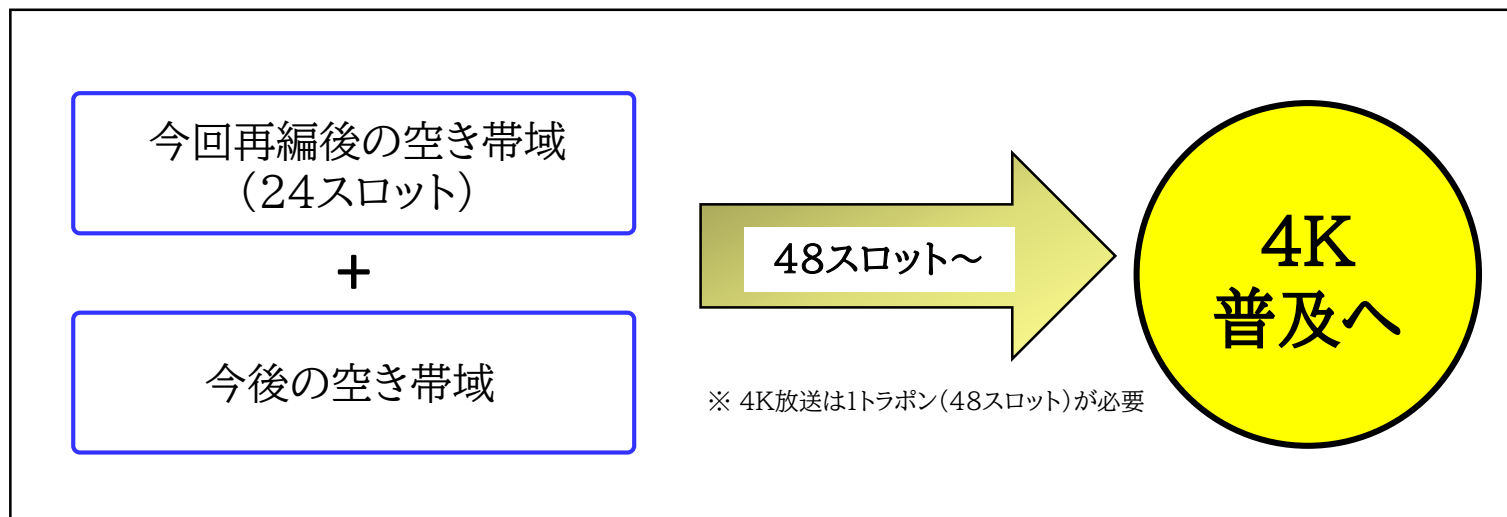
新しい技術により、さらに優れた表現が可能になり番組のクオリティも向上し、視聴者の満足度も向上する。

4Kにおいては、

- ① 超高精細な映像による圧倒的な臨場感。
 - ② HDR(ハイ・ダイナミックレンジ)により今まで以上の輝きや、明るいシーンから暗いシーンまでより豊かな映像表現が可能に。
 - ③ 色域が広がることにより、自然で鮮やかな色の表現が可能に。
- 現在販売されているテレビの過半が4Kテレビである。今後、薄型テレビにおける4Kテレビの比率が増えていくのは明白である。また、インターネットに接続してVODサービスを4Kで視聴することも増えている。
 - スマートフォンでの4K動画の視聴や、4K動画の撮影も普及してきている。
 - 4Kで収録・制作を行い、2Kにダウンコンバートして放送するスキームも確立されつつある。



2-2. BS右旋帯域の有効利用と4K化

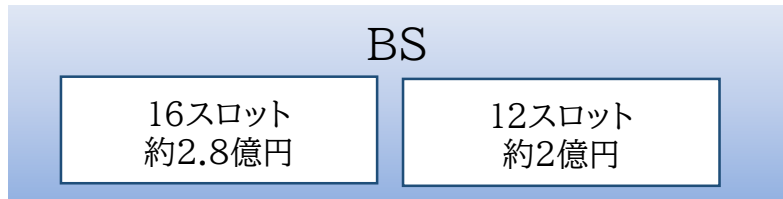


- ・ 今般のBS右旋帯域再編後の空き帯域の有効利用が必要。
- ・ 既存事業者の4K化の希望あり。
- ・ BS/CS左旋展開事業者より、右旋への移行希望あり。

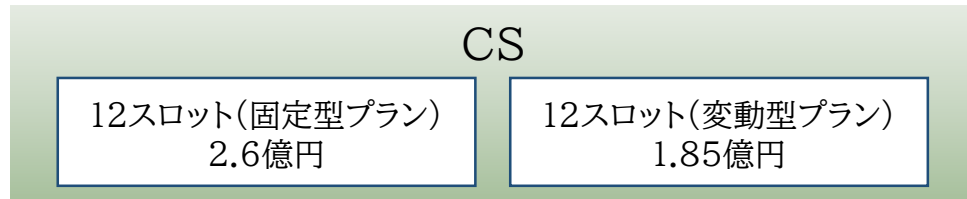
3. 衛星放送の固定費について

3-1.固定費負担の現状

① 衛星料金(年間)

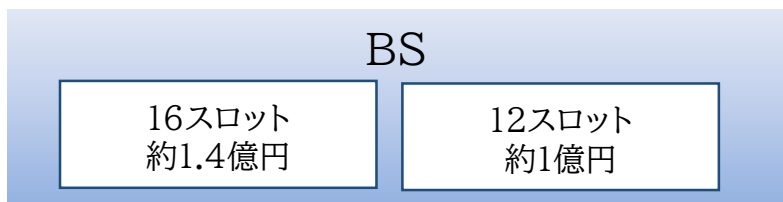


※ 金額は事業者よりヒアリング

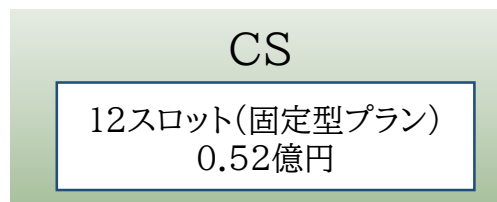


※ 「参入希望事業者向けプラットフォーム業務説明資料」より衛星放送協会が算出

② アップリンク(年間)



※ 金額は事業者よりヒアリング



※ 「参入希望事業者向けプラットフォーム業務説明資料」より衛星放送協会が算出

衛星放送の固定費負担は大きい



固定費の低廉化で…

- コンテンツに投資を!
- さらなるサービス料金の値下げにフィードバックを!

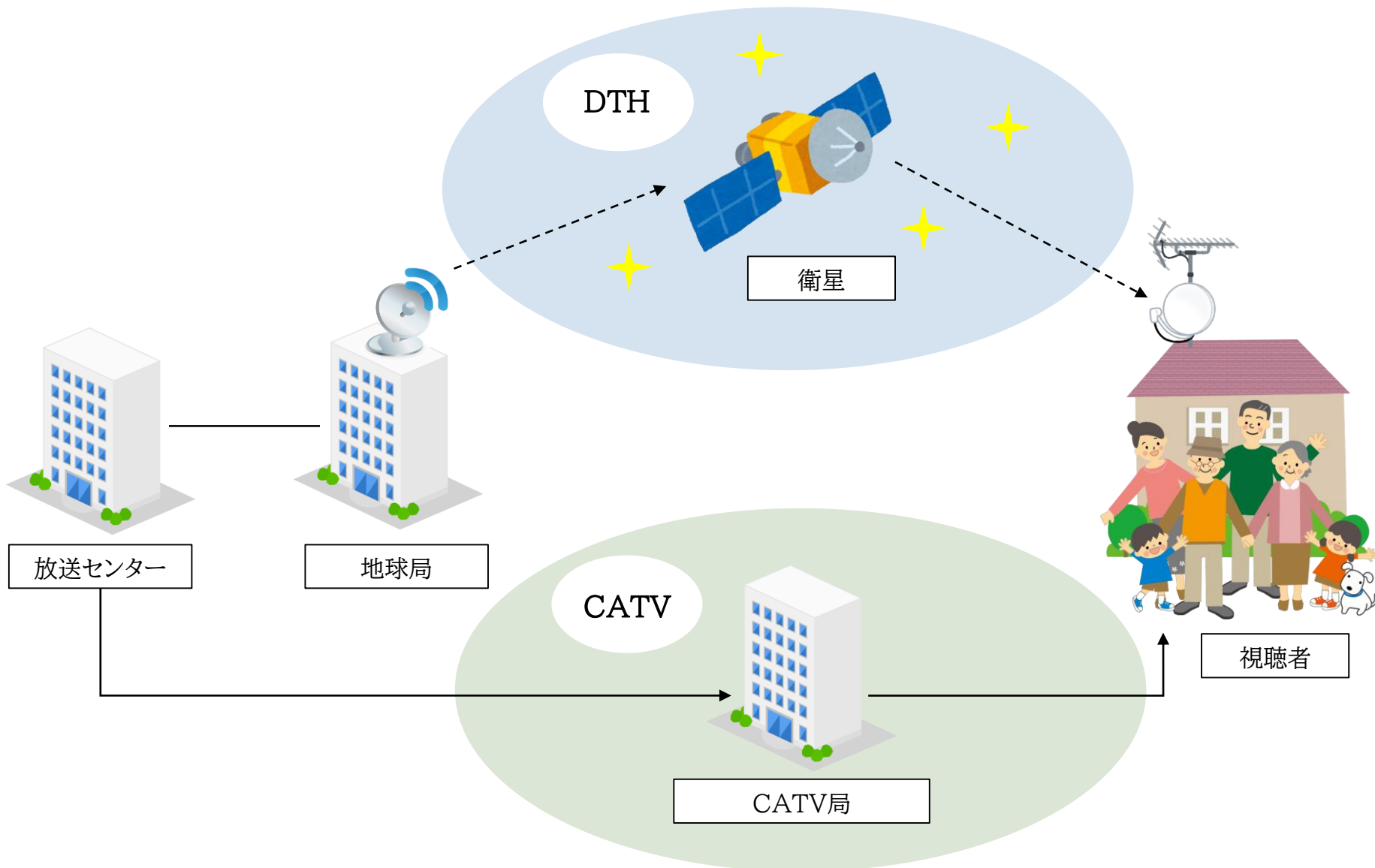
【参考】海外の衛星料金(年間)

Astra UK DTH \$1,209,600

1ch=9.6mbps

※ CS110度放送の12スロット1チャンネル相当値 (ご参考:800kbps × 12スロット = 9.6Mbps)

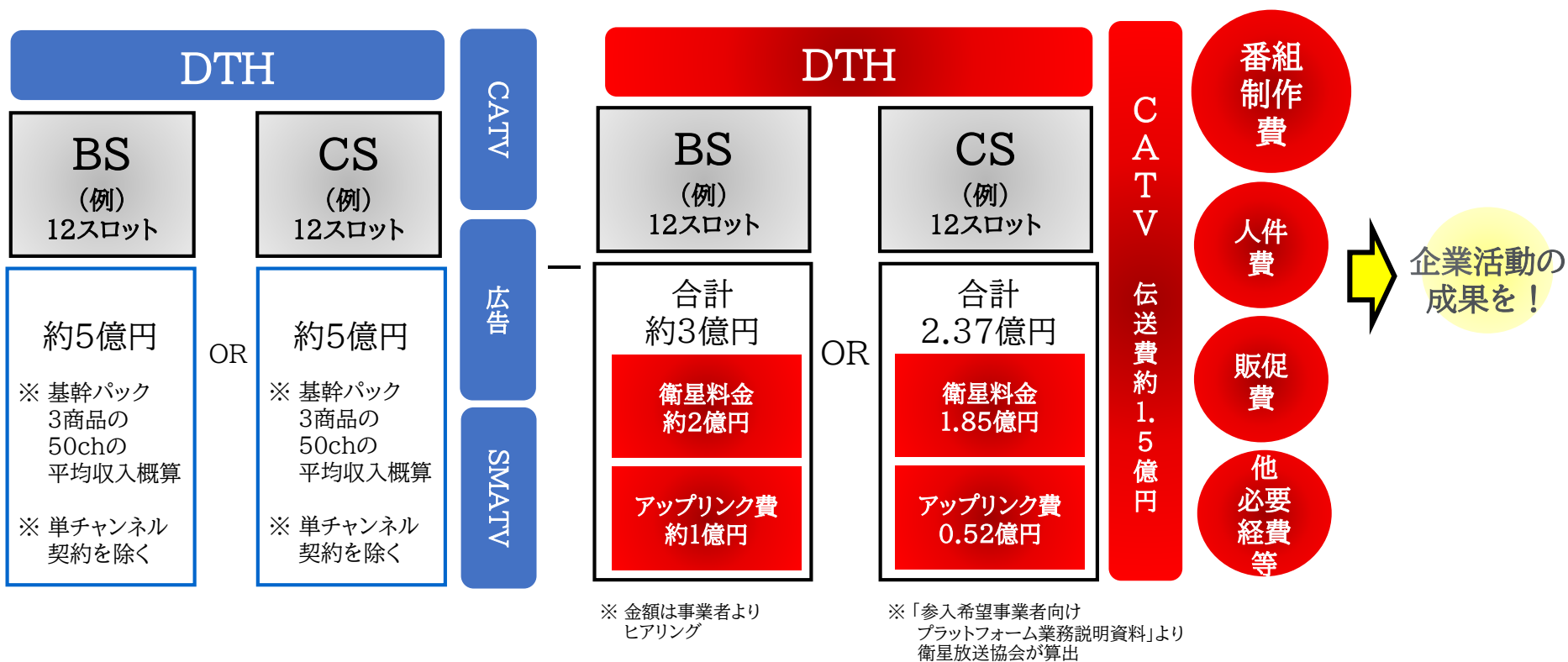
3-2. 基本プラン事業者の放送モデル例



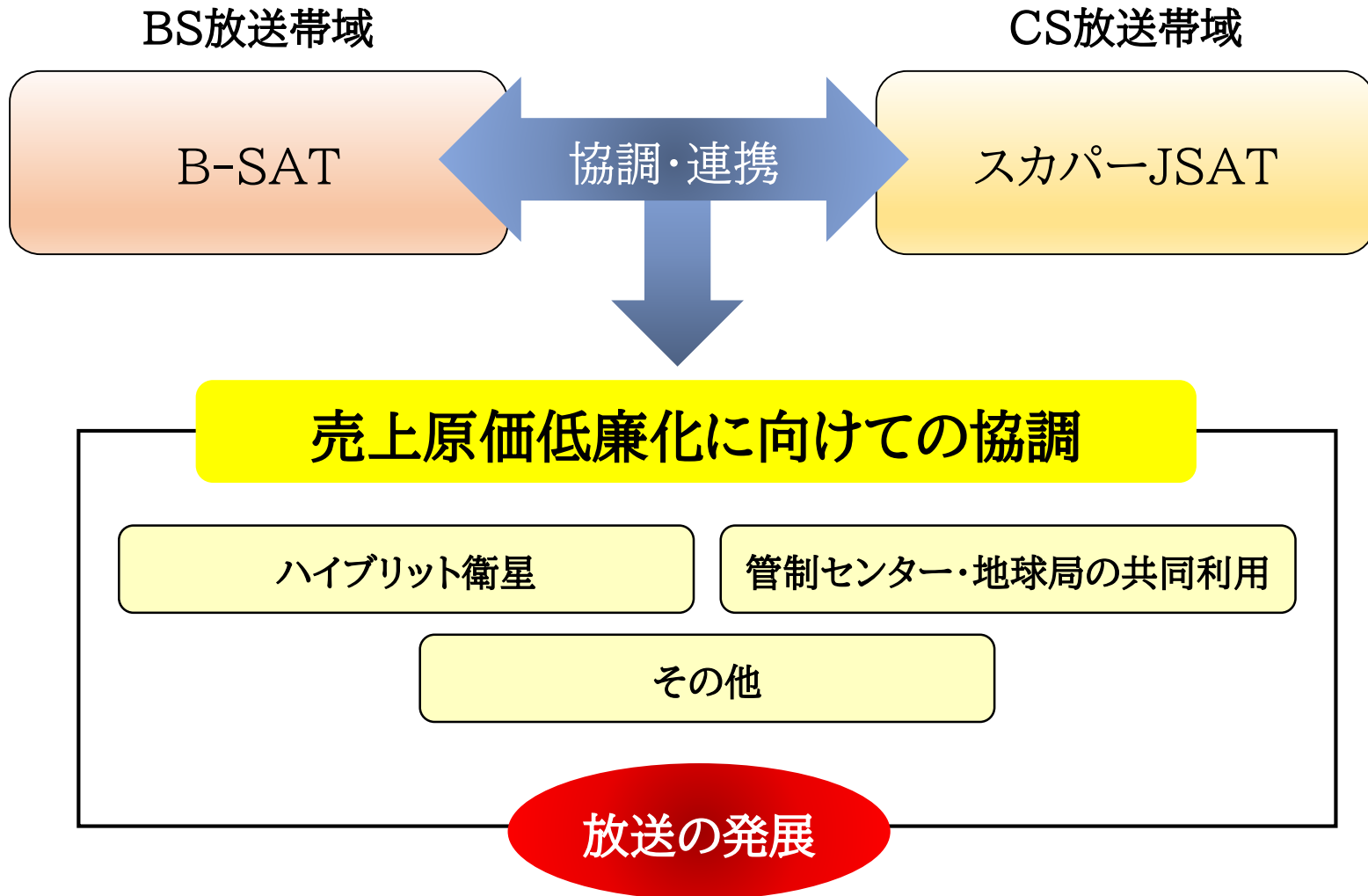
3-3. 基本プラン事業者の運営収支モデル例

収入(年額)

支出(年額)



3-4. 衛星会社の協調関係の構築の重要性



ご清聴ありがとうございました

